

# 屋久島農業普及だより

[編集発行]

屋久島事務所農林普及課農業普及係

屋久島町安房650 TEL:0997-46-2236 FAX:0997-46-3384

**地域農業の振興、魅力ある屋久島づくりに  
農業普及係 頑張ります!!**

地域の農業振興を図り、魅力ある屋久島づくりを進めるため、農業者等との信頼関係を大切にし、関係機関・団体と連携を図りながら、農業経営目標の達成に向けて、農業者の皆様の経営管理能力や技術向上、屋久島の特性を活かした産地づくり、持続的な農村の振興の取り組みを支援していきます。  
よろしくお祈いします。



ひだか 日高 洋一郎  
農林普及課長

以下メンバーで頑張ります！ よろしくお祈いします。



もろき 諸木 美智成  
技術主幹兼農業普及係長

[担当]係の総括、畜産、経営、担い手育成



やなぎがわ 柳川 辰己 技術専門員

[担当]野菜、花き、作物、土壌肥料・病害虫



しげ 重 光雄 技術主査

[担当]茶、新規就農・農業青年育成



ふなさこ 船迫 田鶴 技術主査

[担当]食育・地産地消、地域振興、女性起業



はましま 濱島 朗子 技術主査

[担当]果樹、ブランド産地育成、制度金融



いかわわ 鳥獣被害防止対策 岩川 孝行 集落指導員

[担当]鳥獣害対策



職員異動 お世話になりました。

前田文恵 (県庁農政部経営技術課)

植村亜紀子 (県庁農政部農村振興課)

村田豊昭 (退職)



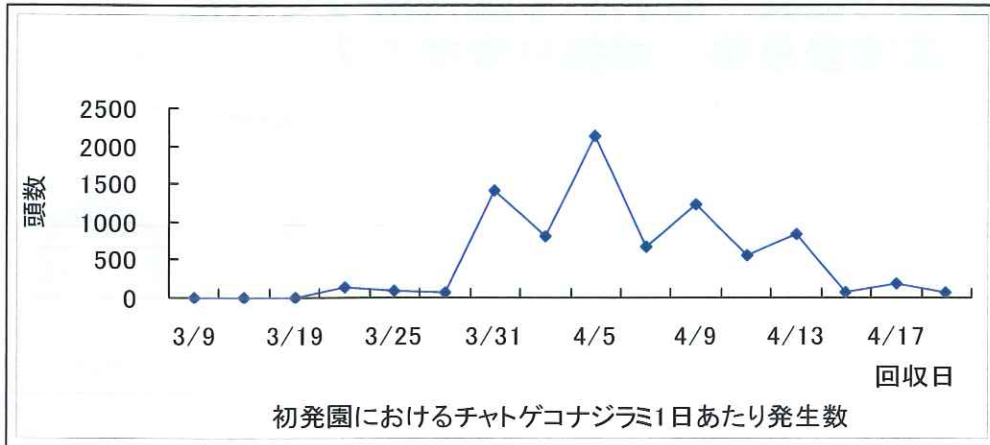
# 屋久島のチャトゲコナジラミの発生状況

平成24年1月に屋久島の茶園においてチャトゲコナジラミの発生を確認しました。チャトゲコナジラミの発生活動や特徴を知り、しっかりと対策を行いましょう。

## 1 発生園における第1世代の発生活動と次世代の発生予測

黄色粘着トラップへの成虫飛び込みが3月19日(月)に確認され始め、4月5日頃に発生がピークとなり(2100匹程度/黄色トラップ1枚/日)、4月20日頃に発生が少なくなりました。

**次世代の発生ピークは、本虫の有効積算気温から6月13日頃と推察されます。**



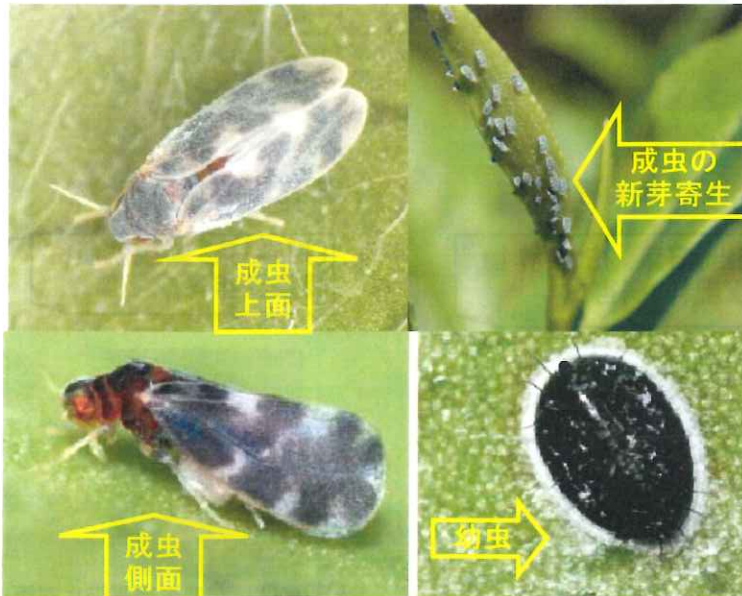
黄色粘着トラップ設置

## 2 発生園の数

本年1月現在で発生ほ場は楠川地区の3ほ場でしたが、4月からの黄色粘着トラップ設置調査で、発生ほ場に、一番近いほ場でも発生が確認され、4ほ場となっています。

さらに発生茶園が増えているか調査中です。

## 3 チャトゲコナジラミの特徴



●成虫は1.2mm程度、幼虫1mm程度と小さく、肉眼での確認が難しい。

●難防除害虫である。理由は葉裏に寄生する。成虫が飛翔する。増殖力が強い。防除適期が短い。

●成虫には飛翔能力があり、黄色系に誘引される習性がある。

●この害虫は、茶以外に、サザンカ、ヤブツバキ、(ハマ)ヒサカキ、サカキ、シキミ等に寄生するが、他のみかん類、マンゴー、ビワ等への寄生は報告されていない。

## 4 主な対策

発生園においては、冬期のマシン油防除、一番茶摘採前後の中切り、**中切り残葉へのマシン油防除**等を行い、密度低下による拡散防止が図られています。

成虫が人に付着して広がるなど急速に生息域を拡大しますので、**むやみに他人の茶園に入らない**ようにしましょう。また、この成虫は、黄色系に誘引される習性があるため、**茶園周辺での黄色系の服装は控える**よう併せてお願いいたします。



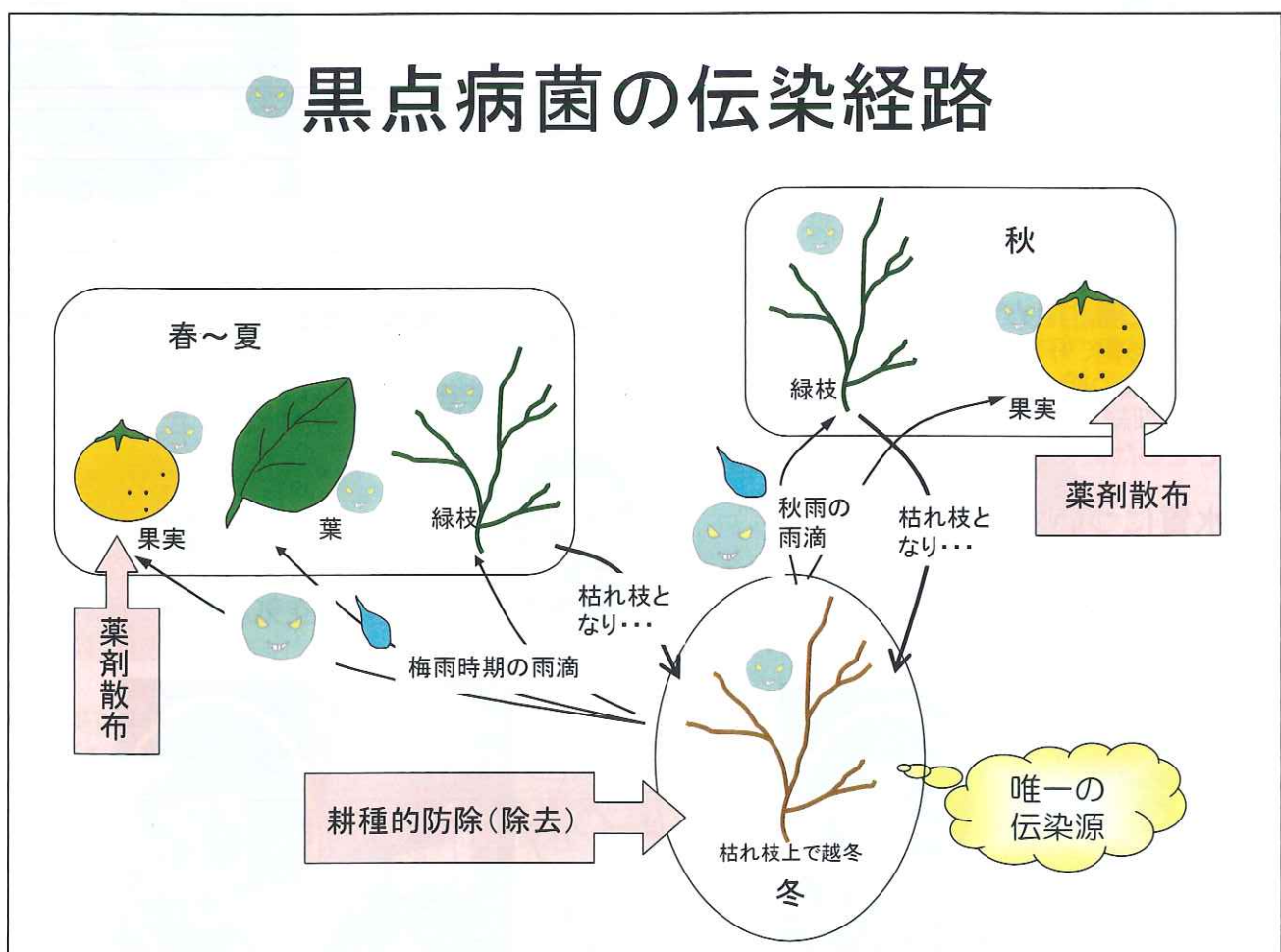
# 黒点病の発生生態と防除対策

黒点病は、梅雨時期に被害が拡大します。枯れ枝を樹園地から取り除き、適期の果実への薬剤散布で品質の良い果実づくりを行いましょう！

## 1 黒点病の発生形態

黒点病菌は、糸状菌(かび)です。気温20～28℃、湿度が高い条件で枯れ枝に孢子を作り、葉や枝、果実へ伝染します。伝染するには、水湿が必須です。そのため、梅雨期と秋雨期に被害が拡大します。

下の図は黒点病菌の伝染経路を示したものです。黒点病は枯れ枝でしか孢子を作れません。よって、黒点病の発生の元となる伝染源は「枯れ枝」のみです。そのため、葉→果実、緑枝→果実というような感染はせず、スタートは必ず「枯れ枝」です。そして、枯れ枝→緑枝という感染をした枝のみが越冬して翌年の伝染源となります。



## 2 防除対策

### 【耕種的防除】枯れ枝の除去

黒点病の伝染源は「枯れ枝」だけなので、除去する効果がとても高いです。梅雨前までには除去し、園内に放置せず、焼却するか土中に埋設しましょう。

### 【化学的防除】薬剤散布

黒点病は他の病害と異なり春葉から果実へ伝染しないため、果実に対してだけ薬剤散布します。防除時期は、幼果期、梅雨期、秋雨期の3回です。



# 農業用水あれこれ ～「管水路」編～

畑作、水稻など農業生産に使用される水を農業用水といいます。農業用水なくして農業は成り立たず、農業なくして人は生きていくことはできません。農業用水とは飲み水と同じように大切なものです。

昔から人々は農地に水を引いてきました。その方法は土水路であったり、コンクリート製の水路であったりと様々です。現在では管水路（パイプ）によって引いたりもしています。

鈴岳畑総も農業用水の事業で、管水路で農地に水を引く方法を採用しています。

現在、鈴岳畑総は一部通水を開始していますが、従来の水路とは違うので戸惑っていませんか？疑問に思うことはないですか？

そこで今回は管水路について、いろいろご紹介します。

## 1 管水路について

人が生活する中で一番身近な管水路は、ご家庭にある水道です。水道と農業用の管水路は全て同じではありませんが、「蛇口を開けば水が出る」のは同じです。鈴岳畑総でも農地に蛇口（給水栓）を設置しております。



## 2 水撃圧について

ご家庭にある水道蛇口を急に閉めると「ドン」と音が鳴ることがあります。これが水撃圧です。蛇口を急に開け閉めすることで管の中の水圧が急変しこのような現象が発生します。この現象は管水路にとって好ましくありません。水圧の急変は時に管を破裂させてしまうこともあります。これは鈴岳畑総の給水栓でも同じです。

鈴岳畑総は水道よりも高い水圧を持っており、水圧の急変が起こりやすいので、**管水路を長持ちさせるためにも給水栓はゆっくりと開け閉めしてください。**

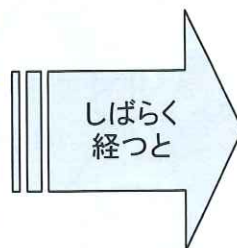
## 3 水質について

農業用の給水栓で水を出したとき、白い水が出てきたことはありませんか？

これは、空気の粒が水に溶け込んでいるのが原因です。しばらくすると空気が抜けて水が透明になっていきますので、ご安心ください。



給水栓から水を出した直後、水は白く濁ってます



水は空気が抜けて透明に

また、たまに農業用水を使うと給水栓から汚れた水が出てきます。これは水が循環していないからです。しばらく水を出して、水を循環させてください。

**注意：屋久島の農業用水は浄化していないので飲み水として使用することはできません。**

## 4 おわりに

農業用水は川などから引いておりますが、無限ではありません。限りある水を無駄遣いせず大事に使いましょう。

今回ご紹介した管水路についてはごく一部です。何か疑問等ありましたら気軽にお問い合わせください。問い合わせ先：農村整備係（TEL：46-2212）